

## 2月3日：VN指数は投資家心理の悪化で下落 (VN-Index -0.95%)

- 旧正月（テト）明け初日のVN指数は下落でのスタートとなった。
- 今月初めに米トランプ大統領がメキシコ・カナダ・中国に関税を課したことで、各国の市場参加者は警戒心を寄せている。
- また、昨日発表されたベトナムの製造業 PMI が前回値を下回ったことも相場の重しとなった。
- 特に、情報技術セクターの下落が大きかった。
- 166銘柄が上昇、308銘柄が下落、41銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は13.9%増の13.9兆ドンとなった。

### VN30指数は大幅下落 (VN-30 -1.65%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、4銘柄が上昇、25銘柄が下落、1銘柄が変わらずであった。
- 上昇したのはGVR (+1.56%)、SHB (+1.46%)、BCM (+1.01%)、CTG (+0.13%)のみだった。
- 特に下落したのはFPT (-5.15%)、VNM (-2.73%)、VIB (-2.66%)など。

### セクター・個別株の動き

- GEE (+6.92%) は前回の取引日に引き続き、好調な決算結果を受けストップ高を記録した。
- ベトナム税関によれば、2024年のゴム輸出が世界的な価格上昇により前年比18%増の34億米ドルに達した。このことが好感され、GVR (+1.56%) は上昇した。
- 外国人投資家は1兆4,610億ドンの売り越しとなった。FPT (-5.15%) やVNM (-2.73%) が大きく売り越された一方、買い越し銘柄に目立った動きはなかった。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。